

モブキャストグループ
第19期 2022年12月期
決算説明資料

2023年02月13日（月）

株式会社モブキャストホールディングス
（証券コード：3664）



Agenda

- 01 2022年12月期通期 決算概要
- 02 2023年12月期 セグメント区分変更 及び 通期業績予想
- 03 モブキャストグループ 中期戦略方針
 - IP投資育成領域
 - デジタルIP領域
 - ライフスタイルIP領域
- 04 Appendix

01

2022年12月期通期 決算概要

- 連結売上高・営業利益共に修正予想に対して未達も、営業損失は前年より改善。
- 特別損失として、X-VERSE（旧ゲームス）にて9月に計上した和解金に加え、HDの固定資産等の減損損失を計上。

営業損失は
前年より改善

売上高

35.87 億円

前年：45.37億円 (△9.49億)
修正予想：37.91億円 (△2.03億)

営業利益

△3.54 億円

前年：△3.73億円 (+0.19億)
修正予想：△3.15億円 (△0.39億)

経常利益

△3.92 億円

前年：△3.98億円 (+0.06億)

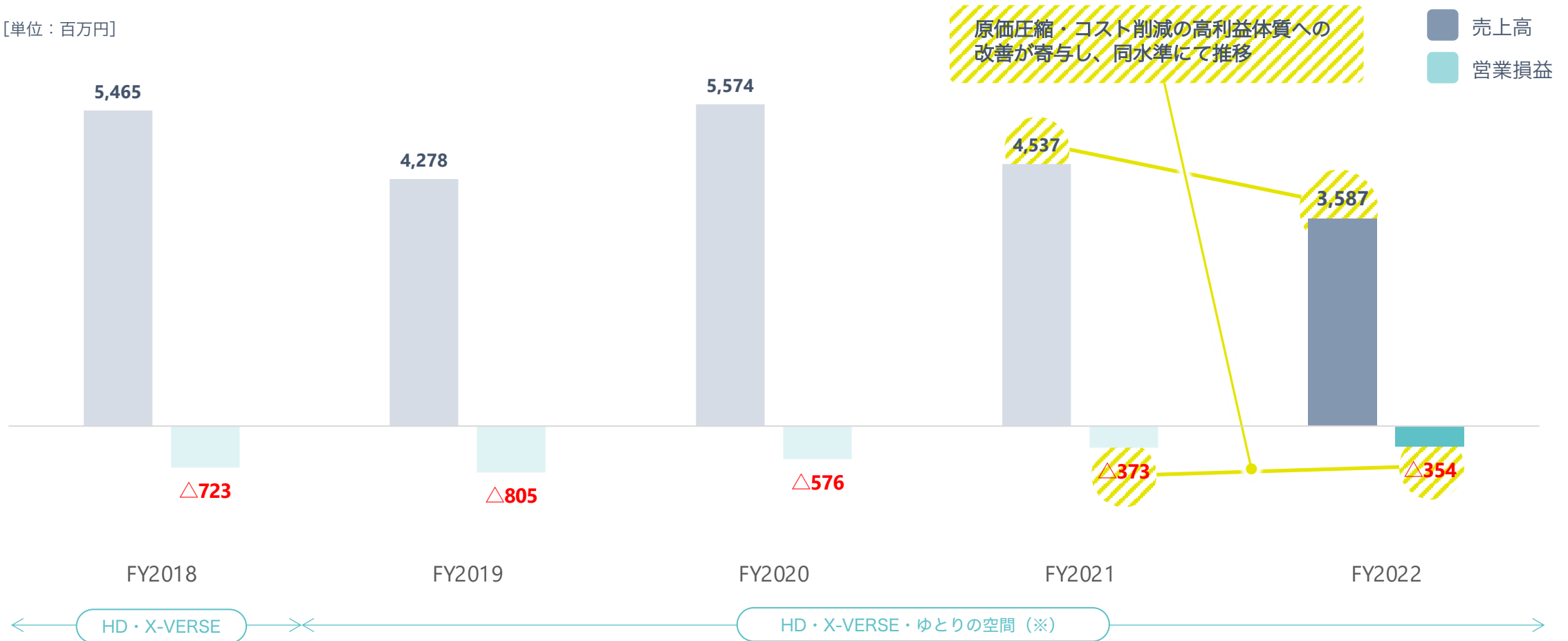
親会社株主に帰属する
当期純利益

△4.48 億円

前年：△10.93億円 (+6.44億)

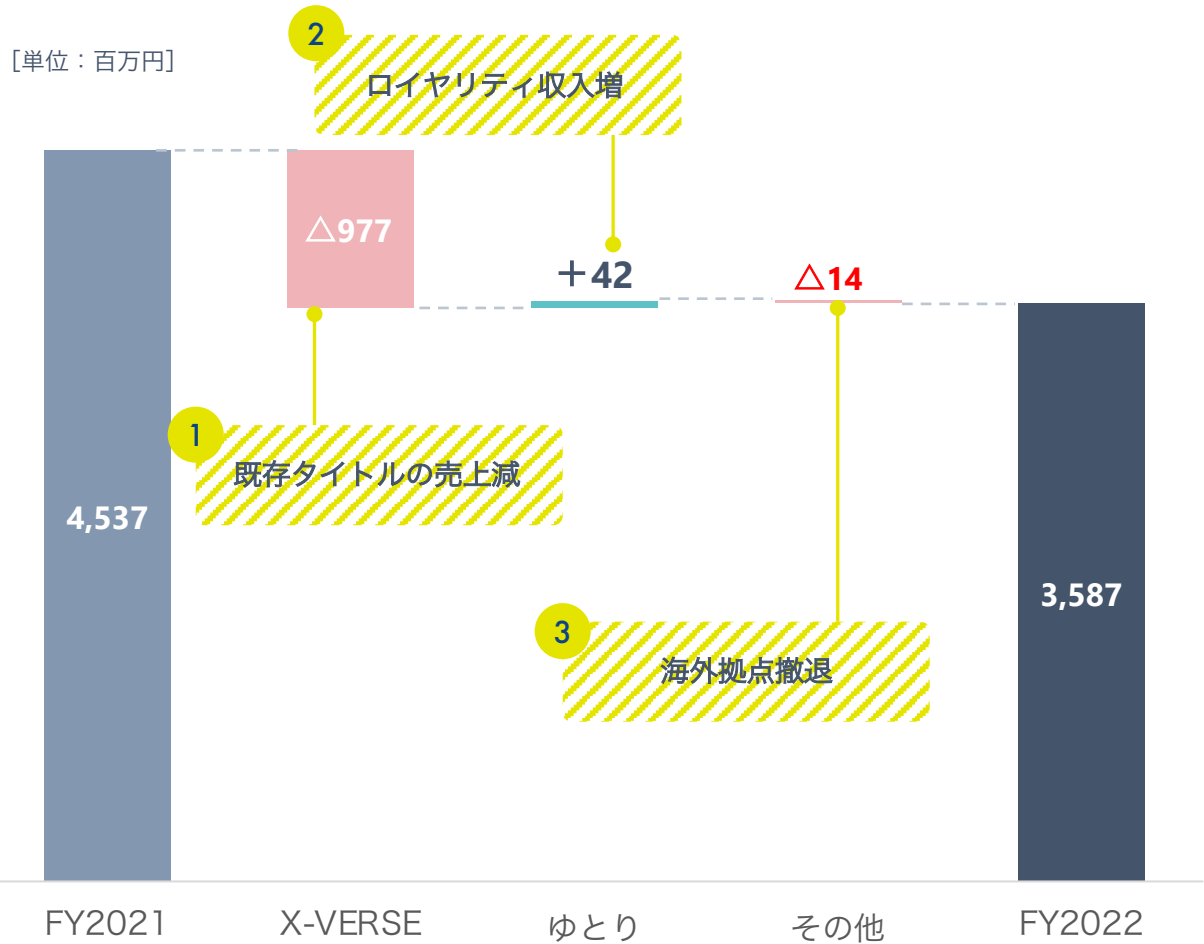
- 売上…前年に対して9.49億円減収。
- 営業損益…ゆとりの空間における原価圧縮に加え、ホールディングスコストの削減により、営業損失は改善。

[単位：百万円]



※FY2019第4Qより「ゆとりの空間」を連結子会社化

X-VERSE (旧ゲームス) における競合タイトルのマイナス影響により、既存タイトル売上が大きく減少したことが主たる差異要因。



影響要因

- 1 X-VERSE (旧モブキャストゲームス) | 2021年10月に配信された「転生したらスライムだった件」の競合タイトルによるマイナス影響が想定を上回り、引き続き大幅な売上減少となった。
- 2 ゆとりの空間 | 出版・レシピ開発等IPのロイヤリティ収入の増加のため。
- 3 その他 | 戦略的な海外拠点撤退のため。

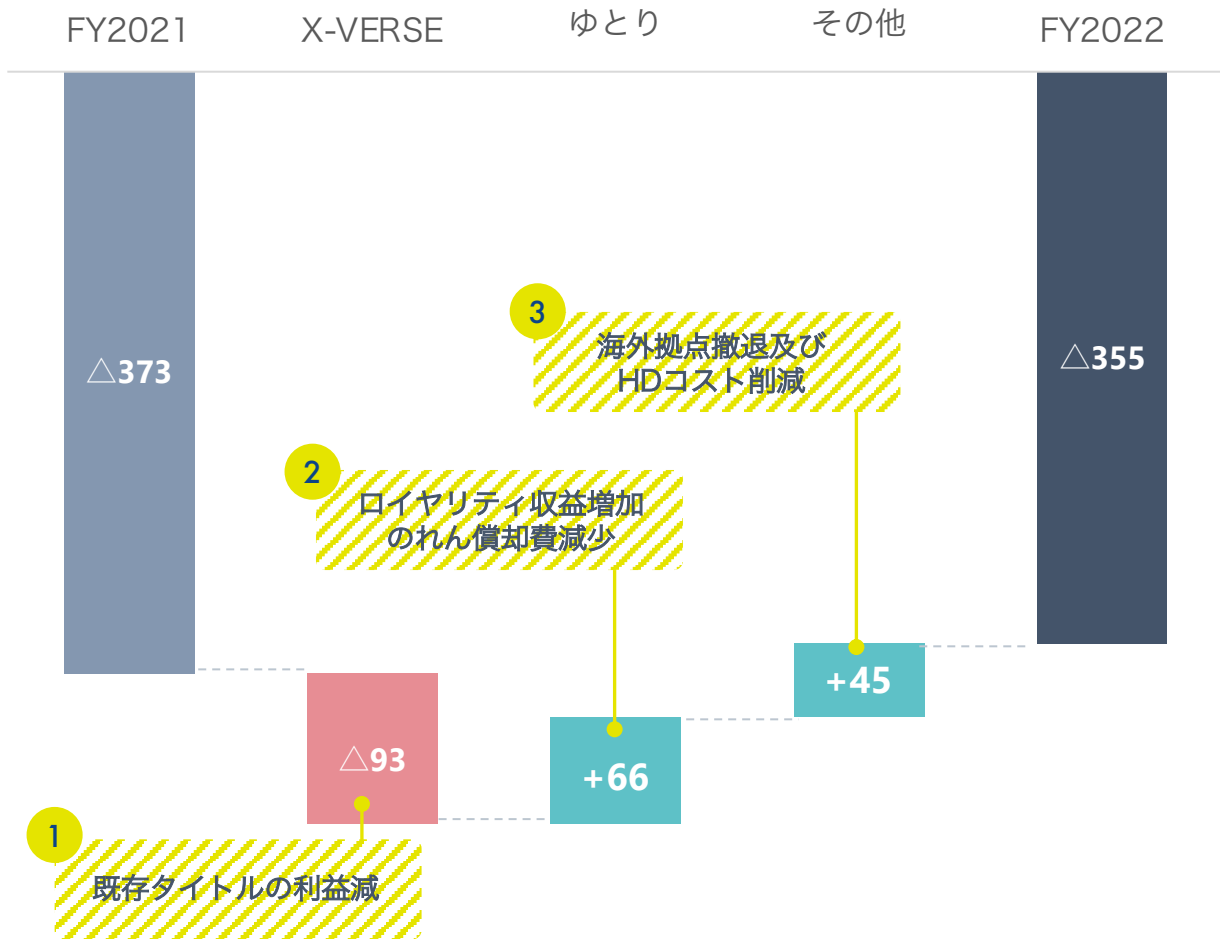
連結 | 営業損益増減要因 (前年対比)

連結

業績報告

X-VERSE (旧ゲーム) における既存主タイトルの減益の影響はあったものの、ゆとりの空間の出版などにおけるIPロイヤリティ収益の増加やHDコストの削減成果により、前年より営業損失は19百万円の改善。

[単位：百万円]



影響要因

- 1** X-VERSE (旧モブキャストゲームス) |
 - 「転生したらスライムだった件」の減益。
- 2** ゆとりの空間 |
 - 出版・レシピ開発等IPロイヤリティ収益の増加。
 - 前期にのれんを減損処理したことによる「のれん償却費」の減少。
- 3** その他 |
 - 海外拠点撤退およびHDコスト削減の成果。

売上

営業利益

サマリー

X-VERSE

(旧モブキャストゲームス)

7.69億円

前年：17.47億円 (△9.77億)
修正予想：8.44億円 (△0.74億)

△0.18億円

前年：0.74億円* (△0.93億)
修正予想：△0.31億円 (+0.12億)

- 「転生したらスライムだった件」等主要タイトルにおける減収及び、期初予定していた新規ゲームタイトルの配信時期延期の影響が大きく、前年対比で減収。

ゆとりの空間

28.09億円

前年：27.67億円 (+0.42億)
修正予想：28.97億円 (△0.87億)

△0.07億円

前年：△0.73億円* (+0.66億)
修正予想：0.35億円 (△0.42億)

- 自社ECシステム刷新後のUI・UX整備ならびに各種マーケティング施策により見込んでいた自社EC売上計画との乖離が主要因。

*新収益認識基準適用ベース

02

2023年12月期 セグメント区分変更 及び 通期業績予想

新セグメント区分

セグメント区分変更

2022年に発表したモブキャストグループ中期戦略方針（2023～2025年）に沿って企業実態を正確にお伝えすべく、2023年12月期よりセグメント区分を以下の3つに変更。

背景

- ◆ エンターテインメント関連の投資育成事業（子会社以外）を開始してから、**最初の一部譲渡が2023年12月期に計上される予定**。今後、次々に過去に投資した有価証券の譲渡が進むことで収益貢献が始まる。
- ◆ 一方、**新規の投資も継続しており2023年12月期では30百万円程度の新規投資を予定**。
- ◆ IP投資育成領域の新設に伴い、現行2つのセグメントも今後の計画及び、実態を正確に表したものに**変更**。

新セグメント区分

01 IP投資育成領域（※新規）

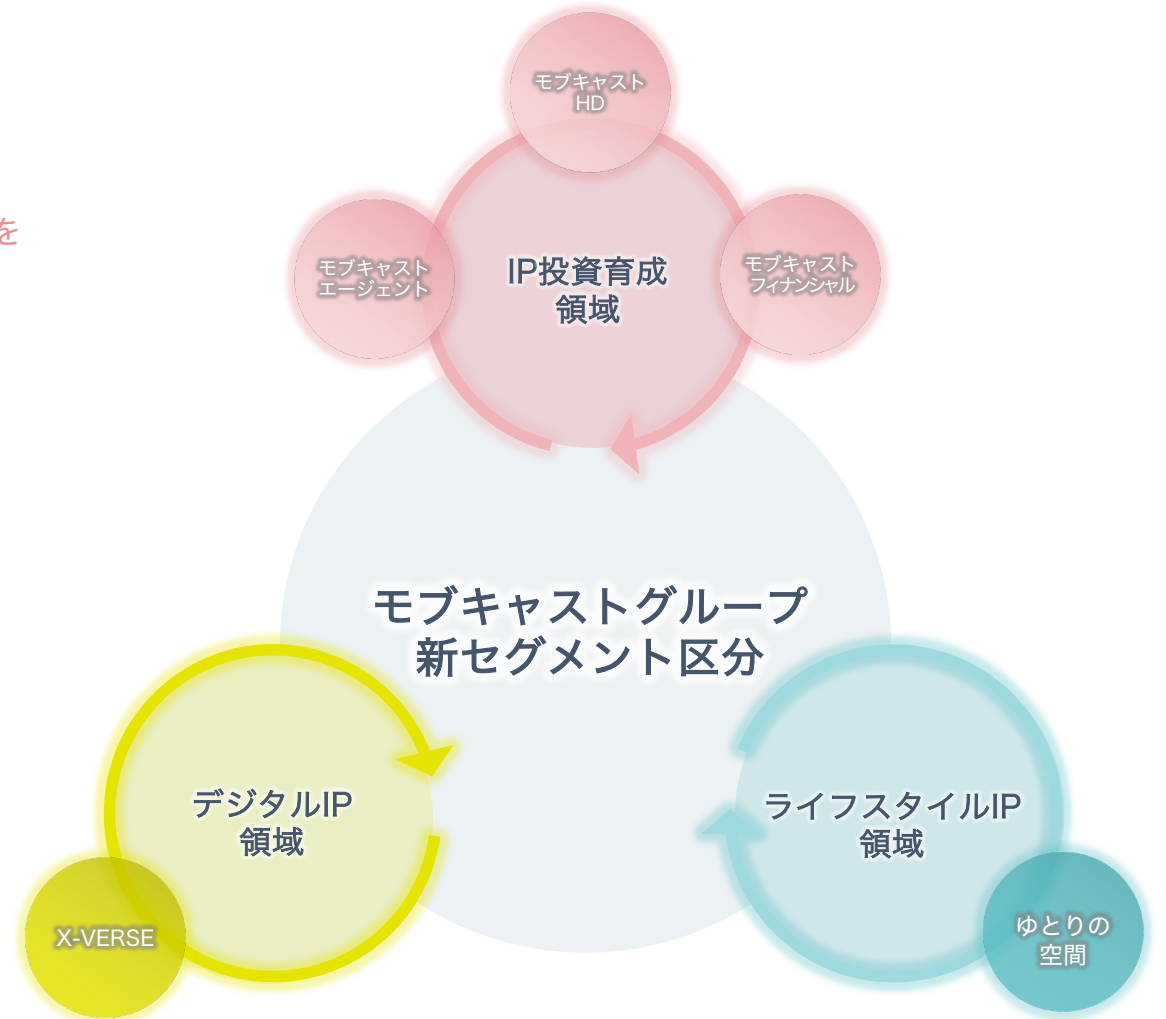
- モブキャストホールディングス
- モブキャストエージェント
- モブキャストフィナンシャル

02 デジタルIP領域（※旧モバイルゲーム領域）

- X-VERSE

03 ライフスタイルIP領域（※旧キッチン・雑貨領域）

- ゆとりの空間



2023年12月期 通期業績予想 新セグメント別内訳

業績予想

- 監査法人との協議により、子会社を除く有価証券の譲渡は2023年12月期において、特別利益に計上。
- X-VERSEの「炎炎ノ消防隊 炎舞ノ章」売上の振れ幅を見込み、レンジを設定。

(単位：百万円)

	連結		HD	X-VERSE		ゆとりの空間	
	上限	下限		上限	下限	上限	下限
売上	4,770	4,200	30	1,730	1,200	3,010	2,970
営利	△210	△290	△300	20	△40	70	50
純利	480	420	440	20	△35	20	15



2023年12月期 通期業績予想レンジ

業績予想

- 監査法人との協議により、子会社を除く有価証券の譲渡は2023年12月期において、特別利益に計上。
- X-VERSEの「炎炎ノ消防隊 炎舞ノ章」売上の振れ幅を見込み、レンジを設定。

当期純利益 4.8億円～4.2億円の業績を予想

企業実態をより正確に投資家の皆様にお伝えすべく、IP投資育成領域の実績を含む当期純利益までの業績予想の開示に変更

(単位：百万円)

		2023年		2022年	増減	
		上限	下限		上限	下限
連結	売上	4,770	4,200	3,587	+1,183	+613
	営利	△210	△290	△354	+144	+64
	経常	△230	△300	△392	+162	+92
	純利	480	420	△448	+928	+868

上記計画を達成させ『株主還元』と『“継続企業の前提に関する注記”の解消』を実現する方針

03

モブキャストグループ 中期戦略方針

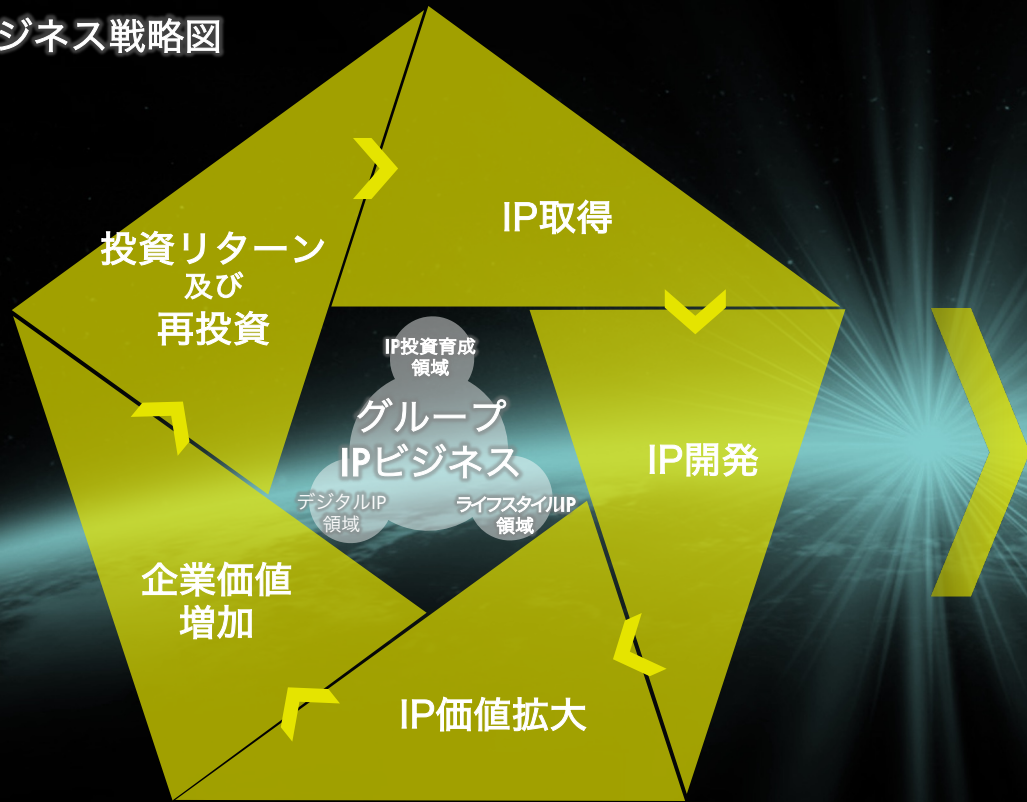
中期戦略方針

経営資源をグループIPビジネス（価値創造・価値拡大）へ集中

背景

- 設立以来、映像制作やゲーム開発など長きに渡りIPビジネスを推進してきた中で、これからの時代におけるIPの重要性を確信した。
- AmazonやNetflix等、インターネットを介してコンテンツを届けるプラットフォームが乱立。競争の激化による、コンテンツの獲得競争などIPの需要がますます高まっている。
- ライセンスIPは、権利元などの意向を受けやすく、自社ではコントロールがづらい。

グループIPビジネス戦略図



グループ売上
200億円以上

営業利益
10億円以上

グループIPの「取得→開発→価値拡大」により、企業価値を増加させ譲渡を実施。2023年は投資リターンにより得た資金の一部をM&AやグループIP取得等の再投資資金として活用し、IP開発・価値拡大に繋げるエコシステムを更に加速させる。

IP投資育成領域 戦略方針

IP投資育成領域のポートフォリオ

IP投資育成領域

ー 今期は子会社を除く投資有価証券の一部譲渡を見込んでおり、IP投資育成領域にて特別利益にて約10億円を計画。

主なIP投資育成領域の企業

投資ステージ	企業名	代表者	事業内容	特徴
レイター	enhance	エンハンス 代表者 水口哲也	共感的体験 と XRテクノロジー の融合を目指すクリエイティブ・カンパニー	XR
アーリー ミドル	Les Trois Grâces	レトロワグラス 代表者 柴咲コウ	社会課題解決型 エンタメ・プロダクトマーケティング事業	サステナブル
	The Human Miracle	ザヒューマンミラクル 代表者 小橋賢児	Soul Revival(魂の蘇生)を生み出すプロジェクトの企画プロデュース	ライフスタイル
	ARANCIONE	アランチヨネ 代表者 香川照之	昆虫関連アパレル、自然教育	ライフスタイル
シード	クラウドホースファーム	代表者 吉田安寛	競馬専用SNS・NFT競馬ゲーム・DAO型コミュニティ	Web3.0
	あおみどり AoMidori	代表者 吉岡英尋	「食の力で日本を元気に」和食関連事業	キッチン雑貨・フード

過去実績

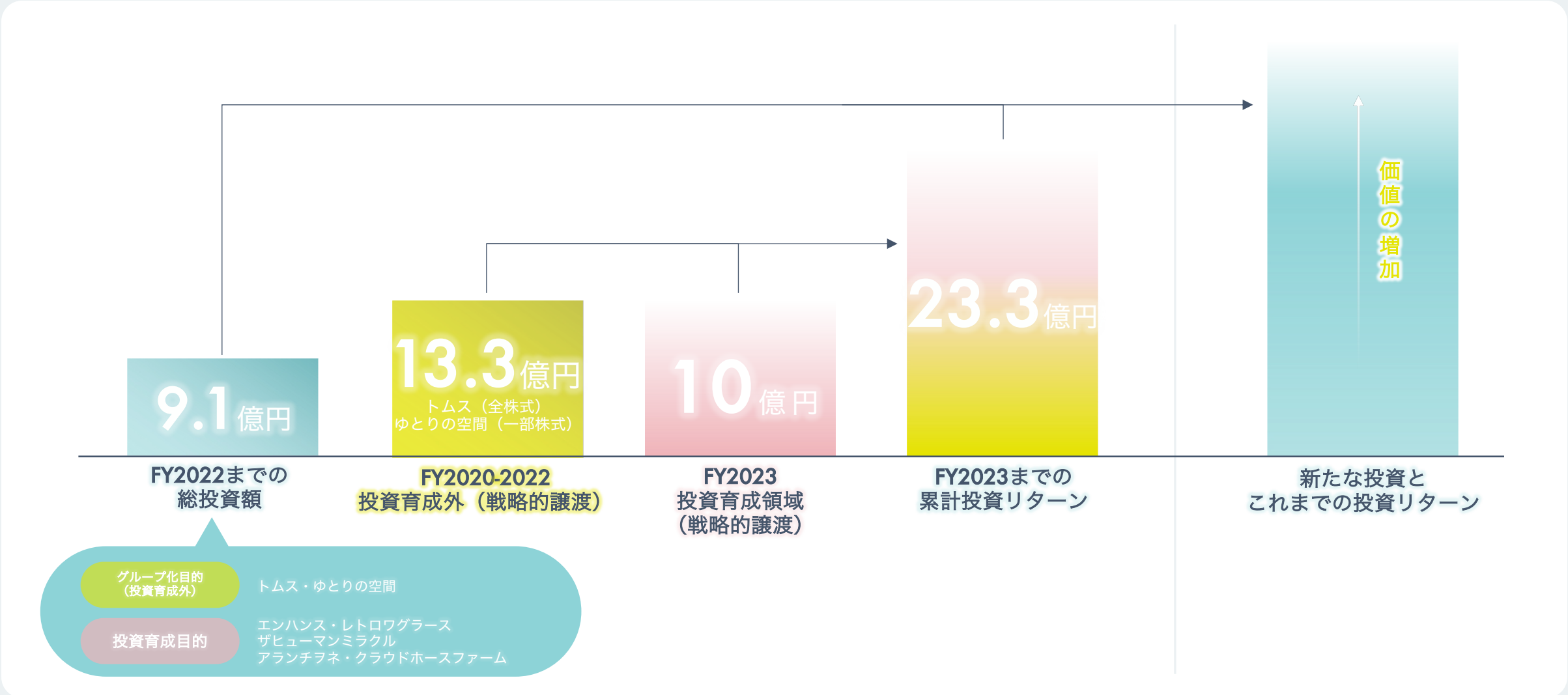
株式会社トムス 全株式譲渡
TOM'S 2021年1月
株式会社ゆとりの空間 一部株式譲渡
 2022年5月 yutori no kukan

- レイター (直近評価額50億円以上)
- ミドル (直近評価額10億円以上50億円未満)
- アーリー (直近評価額5億円以上10億円未満)
- シード (直近評価額5億円未満)

※投資ステージは当社内部管理の数字を用いて、独自に分類したものととなります。
※各社直近の資金調達時評価を反映しており、2022年12月末時点を反映しているものではありません。

投資リターン実績

これまで総額9.1億円の投資を行い、前期までに株式の一部譲渡により13.3億円を投資リターン済み。更に今期、株式一部譲渡により約10億円のリターンを見込む。



デジタルIP領域 戦略方針

2023年2月1日に株式会社モブキャストゲームスから株式会社X-VERSE (読み方：クロスバース) へ社名を変更。

モバイルゲーム関連企業からメタバース・Web3関連企業へ

X-VERSE

目的

これまでのモバイルゲームに加え、メタバースのようなバーチャル空間やWeb3.0にインパクトを与える『自社IPの創出』を更に加速させていくこと表すために、新社名へ変更。

新社名に込めた思い

新社名である「X-VERSE」は「クロスバース」と読み、拡張性 (extensibility) を表現する「X」とMetaverse (メタバース) の「VERSE」の2つのワードから成り立つ。

現実世界 (リアル) と仮想世界 (バーチャル) を掛け合わせ、新時代のIPを創出していくという強い思いを込めた。

強みを源泉に既存領域（ゲーム）と成長期待事業である新規領域（電子漫画／メタバース・VTuber）の循環モデルを形成し、メタバース・Web3.0時代に受容されるIPを創出する。

メタバース・Web3.0時代に受容されるIPの創出



2023年12月期は協力会社とアライアンスを組み合わせながら、成長期待事業である新規領域の2つを推進

完全新作オリジナルゲーム「炎炎ノ消防隊 炎舞ノ章」は、30万ダウンロードを突破。

「炎炎ノ消防隊 炎舞ノ章」2023年1月30日にローンチ



App Store
無料ランキング
1位を記録!

2023年1月30日に完全新作オリジナルゲーム「炎炎ノ消防隊 炎舞ノ章」が正式サービス開始。
2月2日現在、30万ダウンロードを突破。
ユーザーの皆様により楽しんでいただける様々なゲーム内イベントを企画中。

『MTプロジェクト』から1人目のVTuber「轟凛」(Todoroki Rin)がデビュー。初回は1月14日・15日開催の東京オートサロンの中継配信を実施。

※ SMARTOON は「ピッコマ」内での縦読み漫画の総称

メタバース・VTuber領域

■ 「MTプロジェクト」として今後複数のVTuberがデビュー予定。

『MTプロジェクト』とは、「Mobility x YouTube」を意味し、バーチャルトムス・アテンダントを起用しモータースポーツの魅力を伝え、モータースポーツファンを増やすことを目的としたプロジェクト。第一弾として「轟凛」がデビュー。

今後は、複数のVTuberをデビューさせる予定のほか、TOMSEVK23全日本選手権の公式キャラクターとして公式試合となるレース実況配信やモータースポーツの魅力を伝える活動を行う。

● 1月14・15日東京オートサロン中継配信としてVTuber「轟凛」がデビュー

東京オートサロンでのTOMSブースの紹介を中心に、会場にいるトムス・アテンダントへのインタビューなど2日間に渡り実況配信を実施した。



● 2023年度 TOM'S SUPER GT GT500クラス レース参戦決定

バーチャルトムスアテンダントとして、新たなメインスポンサー「デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザリー合同会社」を迎えた37号車「TGR TEAM Deloitte TOM'S」のチームアテンダントが決定。



TOMSEVK23
全日本選手権
公式レースの
実況配信を予定



轟凛

とどろき りん / Todoroki Rin

誕生日: 2月20日

身長: 165cm

ママ: @yun_216 (illustrator)

お家: @tomsracing

目標

モータースポーツファンを増やすこと。

Youtubeのチャンネル登録者1万人。

いつか画面から飛び出したい。

長生きしたい。

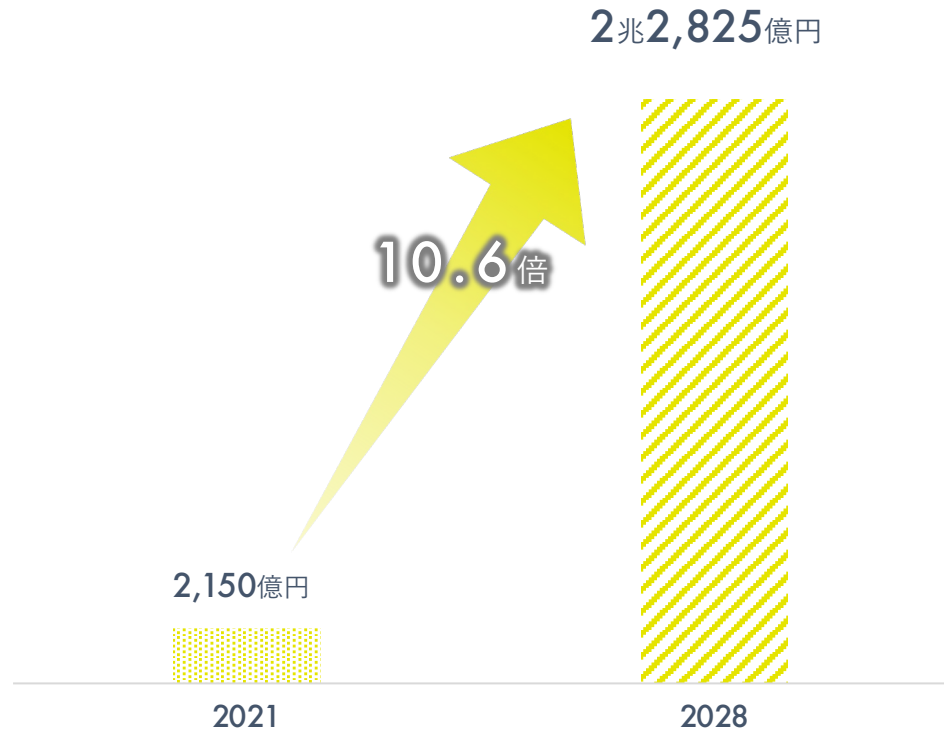
©MT Project

世界のVTuber市場予測

参考

2021年から2027年までに2兆円以上の成長が見込まれるVTuber市場。
X-VERSEは、ソーシャルゲーム運営で蓄積したファンマーケティングのノウハウを源泉に、更なるIP開発を目指す。

世界のVTuber市場規模予想



※2022年2月4日現在、1ドル=131.18円で計算
[Global Vtuber (Virtual YouTuber) Market Research Report 2022](QYResearch Group)
<https://www.dri.co.jp/auto/report/qyr/221111-global-vtuber-virtual-youtuber-market.html>

VTuberとは？



「VTuber」とは「Virtual Youtuber（バーチャルユーチューバー）」の略語。2Dもしくは3Dのキャラクターの姿を使って、動画投稿やライブ配信をしているYouTuberを含めた動画配信者のこと。

2016年の「キズナアイ」登場からスタートし、配信や動画の内容も、雑談・ゲーム実況・歌といったものから、朗読・ハウツー・作品紹介など多岐にわたり、スタイルは十人十色。キャラクターだからこそできる世界観の表現に多くのユーザーに支持されている。

最近では企業や自治体がVTuberをIPとして活用するパターンも増え、商品の宣伝やイメージアップにVTuberを起用している。

ライフスタイルIP領域 戦略方針

株式会社ゆとりの空間は、栗原はるみが料理と暮らしを楽しくする工夫とアイデアを通じて、皆さんの毎日の暮らしが少しでも楽しくなるきっかけをつくるブランドを提供する。

会社概要



yutori no kūkan

社名	株式会社ゆとりの空間
創業	1994年11月
本社所在地	東京都目黒区碑文谷5-9-8
代表/創業者	栗原 はるみ
代表取締役	栗原 心平
事業内容	料理レシピ中心としたライフスタイルの提案、キッチン雑貨の製造販売

栗原 はるみ



料理家。家庭料理を中心としたアイデアあふれるレシピは、年代を問わず幅広い層から支持されている。

著書は、ミリオンセラーとなった『ごちそうさまが、ききたくて。』（文化出版局）をはじめ、累計発行部数は3,100万部を超える。

暮らしを楽しむコツやライフスタイルを提案する生活雑貨ショップ「share with Kurihara harumi」をプロデュースし、オリジナルの食器やキッチン雑貨、調味料、インテリア小物、エプロン、ウェアなどを展開。

1996年創刊のパーソナルマガジン『harumi』（扶桑社）は、2021年9月に25周年、通算100号を迎え休刊。2022年3月、講談社より新たなパーソナルマガジン『栗原はるみ』を創刊し、3号で50万部発行。Instagramのフォロワー数は68万人。

栗原 心平



日本を代表する料理家栗原はるみを筆頭とした栗原家のアイデンティティが染み込む料理家。一児の父。

ゆとりの空間の代表取締役社長。会社の経営に携わる一方、幼い頃から得意だった料理の腕を活かし、自身も料理家としてテレビや雑誌などを中心に活躍。仕事で訪れる全国各地のおいしい料理やお酒をヒントに、ごはんのおかずやおつまみにもなるレシピを提案している。

2012年8月より、国分太一&栗原心平が日曜お昼にお送りする、ほのぼのとした時間が流れるおしゃべりな料理番組『男子ごはん』（テレビ東京系列）にレギュラー出演中。自身の公式YouTubeチャンネル「ごちそうさまチャンネル」を開設し登録者数21万人以上、また小中学生を対象としたアーカイブ動画視聴型のオンライン料理教室「ごちそうさまクッキングスクール」を主宰している。

毎日の「おいしい」に喜びと感謝を

VISION
目指すべき未来

キッチンを通した家事ライフ満足度No.1企業

MISION
私たちの使命

毎日の料理を楽しく
日々の料理が報われ、家族が団らんする幸せな食卓

VALUE
私たちの価値

おいしさの再現性を司る
-料理を楽しくする工夫と手助け
-習慣として心地よく無理なく続けられること



ゆとりの空間：IPO時に実現したい姿

戦略方針

ライフスタイルIP領域

企業理念を掛け合わせ、IPO時の実現したい姿を設定。
リアルとデジタルを複合させたおいしさの再現性を体験できる「ワクワク空間」の創出を今期から実行する。

ゆとりの空間が目指すのは、200万世帯が様々なおいしさの再現性を体験できる「ワクワク空間」の創出

「ゆとりの空間」は、家族の喜びと感謝あふれる様々な「おいしさの再現性」を体験できるワクワク空間（プラットフォーム）へ。
あらゆるタッチポイントでユーザーを惹きつけ、リアル・デジタルを掛け合わせた様々なコンテンツが会員のコト・モノ消費を促進するワクワク空間をつくります。



リアルとデジタルを合わせた
ワクワク空間（プラットフォーム）



家族の喜びと感謝あふれる様々な「おいしさの再現性」

 **200万**世帯

IPO時における「200万世帯が様々なおいしさの再現性を体験できるワクワク空間」実現を目指す。

4つの成長戦略

ワクワク空間の
立ち上げ

01 自社ECサイト及び百貨店のアップデート→ワクワク空間の創造

- 自社ECサイトは栗原はるみの世界観やおいしさの再現性を楽しむデジタルプラットフォームへ。
 - 百貨店は栗原はるみの世界観を実体験する場へ再設計。
 - 店舗ポイント・ECポイントの共通化などオンラインと百貨店の融合化。
- KPI：新規会員獲得数、会員購入率、顧客単価、百貨店一店舗あたりの坪効率

02 フレキシブルなものづくり体制の確率

- IPOに備えた規模拡大のためのリスクを見据えたものづくり体制の確立。
- KPI：売上高在庫比率

チャレンジ

03 「食」に関わる新規事業の創出

- 強みである「食」をワクワク空間の会員獲得に繋げる新規事業の創出。
 - モブキャストエージェントと連携し、レシピ開発におけるロイヤリティビジネスの拡大。
- KPI：新規会員獲得数

レバレッジ

04 マーケティング・ブランディング強化

- 会員獲得のための**TVCM・デジタルマーケティング強化**。
 - 会員に繋げるロイヤリティアカウントの増加。
- KPI：新規会員獲得数、ロイヤリティアカウント数（関係するSNSのフォロワー数の総和）

実現したい姿

家族の喜びと感謝あふれる
様々な「おいしさの再現性」

ワクワク空間へ
200万世帯



TVCM
デジタルマーケティング

05

Appendix

売上

営業利益

サマリー

連結

8.97 億円

前年同Q : 10.84億円 (△1.86億)

△0.58 億円

前年同Q : △1.04億円 (+0.46億)

- 売上はX-VERSEの減収の影響が大きく、前年同Qより△1.86億円の減収。
- 営業損益はゆとりの空間の増益及びHDコスト削減の効果で前年同Qより+0.46億円の増益。

X-VERSE
(旧モブキャストゲームス)

1.48 億円

前年同Q : 2.99億円 (△1.50億)

△0.26 億円

前年同Q : △0.20億円* (△0.05億)

- 引き続き「転生したらスライムだった件」等 主要タイトルにおける減収の影響が大きかった。

ゆとりの空間

7.44 億円

前年同Q : 7.83億円 (△0.38億)

0.36 億円

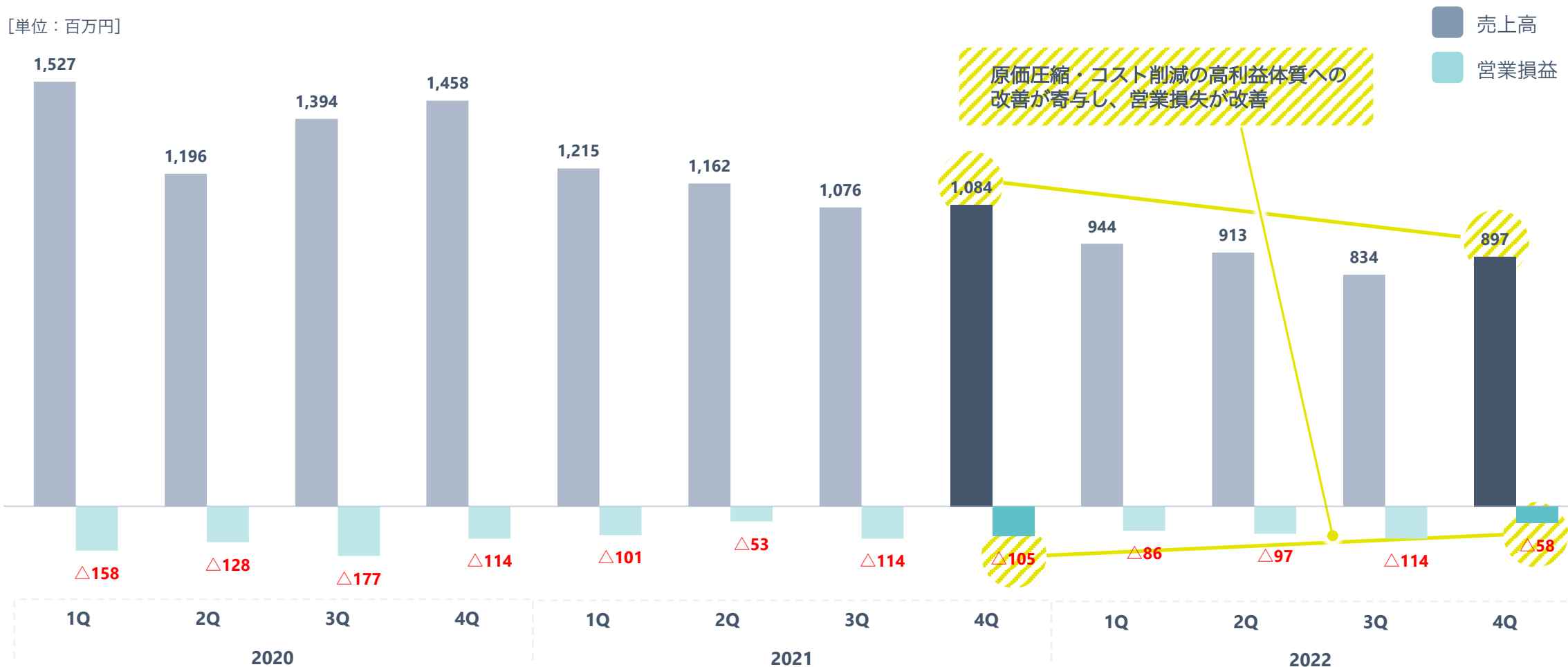
前年同Q : △0.07億円* (+0.43億)

- 4Q百貨店、EC売上前年割れも出版・レシピ開発 IPロイヤリティ収入の増加と「構造改革費」に関するコスト減少で営業損益は改善

*新収益認識基準適用ベース

- 売上…前年同四半期に対して1.86億円減収。
- 営業損益…ゆとりの空間における原価圧縮及び販管費削減に加え、ホールディングスコストの削減により46百万円の改善。

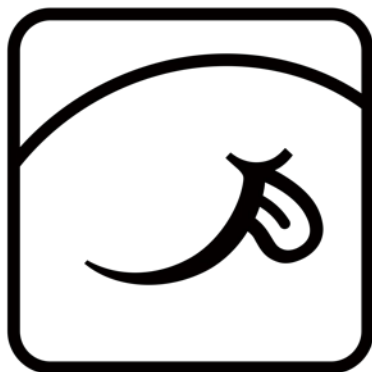
[単位：百万円]



(単位：千円)

	2021年	2022年			
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	1,084,359	944,080	912,535	833,916	897,433
売上原価	517,070	447,612	413,319	400,270	386,036
売上総利益	567,289	496,467	499,216	433,646	511,397
販管費	671,939	582,170	595,889	547,819	569,626
営業利益	▲ 104,649	▲ 85,702	▲ 96,673	▲ 114,172	▲ 58,228
経常利益	▲ 105,649	▲ 92,518	▲ 107,559	▲ 124,955	▲ 67,043
四半期純利益(※)	▲ 736,979	▲ 85,093	▲ 119,281	▲ 132,222	▲ 112,092
総資産	2,789,910	2,711,841	3,084,346	3,022,624	3,170,883
純資産	174,227	114,041	402,137	352,526	751,803

(※) 四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益数値です。



MOBCAST
GROUP

社名	株式会社モブキャストホールディングス (MOBCAST HOLDINGS INC.)
本社所在地	東京都港区六本木六丁目8番10号 STEP六本木 4階
代表者	藪 考樹
設立年月日	2004年3月26日
資本金	1,488,650千円 (2022年12月末日時点)
連結従業員数	119名 (2022年9月末日時点)
事業概要	グループ戦略、成長戦略の策定およびそのマネジメント エンタテインメントコンテンツ化IPやブランドの保有

株式の状況

発行済株式数*1	44,638,408株
大株主の状況*1	
藪 考樹	10.23%
株式会社SBI証券	4.34%
楽天証券株式会社	3.34%
山下 博	2.70%
株式会社ファミリーショップワタヤ	2.25%
日本証券金融株式会社	1.42%
寺田 航平	1.00%
株式会社SBIネオトレード証券	0.99%
auカブコム証券株式会社	0.77%
後藤 知近	0.71%

株価関連指標

株価*2	70円
時価総額*2	3,124,688千円
総資産*1	3,170,883千円
純資産*1	751,803千円
PBR*2	4.25倍
PER*2	-

*1：2022年12月末日時点

*2：2023年 2月10日時点